

「関西観光・文化振興計画(改定 中間案)」に対するご意見・ご提案と関西広域連合の考え方

平成27年1月
 関西広域連合広域観光・文化振興局

「関西観光・文化振興計画(改定 中間案)」に対する府県民意見等を募集した結果、9名から延べ27件(うち意見の公表を望まないもの0件)のご意見・ご提案をいただきました。いただいたご意見・ご提案に対する関西広域連合の考え方は下記のとおりです。

1 計画全般及び基本方針について

整理番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
1-1	<p>○「関西はわが国の近畿である」と中心性を強調することが必要だと思えます。それが関西のブランド価値を高め、東京一極集中を抑制することにもつながるものと思えます。</p> <p>計画案に「近畿」あるいは「畿内」という関西にとって非常に意義深い語句がみえません。「近畿」「畿内」は“みやこのある地方”を意味する広域地名であり、文化資源の集積や京都の存在など地域の特色を示すことができます。「関西」の語では換言できないものです。</p> <p>○また、計画案では関東を関東と呼ばず「東京・首都圏」とのみ呼び、近畿を近畿と呼ばず「関西」とのみ呼んでいます。そうした態度が東京一極集中の遠因になっているのではないのでしょうか。外国人観光客の多くを占める漢字圏の国・地域に対して関西を説明する際にも有効だと思えます。</p>	<p>○関西観光・文化振興計画においては、「近畿」「畿央」という呼称は用いていませんが、ご提案の内容にある、古くから日本の都、商都として栄え、信仰の聖地、学問の都など様々な顔を持つ魅力ある地域であるということについては、内外に発信し、伝えていくことが重要であると考え、これまでからプロモーションや情報発信等を通じて取り組んできています。</p> <p>○「東京・首都圏」の呼称については、インバウンド観光における訪日外国人旅行者のほとんどが関東でも東京・首都圏に集中・経由していることから、わかりやすくこの呼称を使っています。</p>
1-2	<p>○基本方針4 文化芸術の継承・創造を通じての観光振興について 有形・無形にいたる文化の保持・維持政策が重要になる。また伝統産業の美術工芸品保護・維持・人材育成策も必要になり、その為の財全確保の必要性も高まる。関西広域連合として財政措置の必要と施策を強く「国」に対して求めてもらいたい。</p>	<p>○関西広域連合では、既に国に対し、文化の若い担い手育成や次世代への文化継承の取組などへの財政支援を要望しております。</p> <p>○これからも、関西広域連合が果たすべき役割を整理し、関西全体の観光・文化振興を図ることが重要と考えておりますので、ご意見につきましても、今後の参考にまいります。</p>
1-3	<p>○将来像「アジアの文化観光首都」となるために関西に於いて「アジア(北東アジア、東南アジア)を軸とした国際交流のパイプを太くしていく必要を強く感じる。その為の施策として我が方としても北アジア・東南アジア諸国の文化・地理・歴史・地誌を広く深く知っていくための、諸国の研究者等を招聘した講演や国際的、学際的フォーラムやシンポジウムを各地で開催してはどうか。</p>	<p>○KANSAIは、アジアの歴史・文化の集積地であるとの認識により、将来像として「アジアの文化観光首都」として掲げているところです。アジアは今、急速な成長・発展を遂げ、世界から注目を集めています。ご意見につきましては、アジアを代表する国際観光・文化圏として、KANSAIブランドの浸透を図るための施策の推進に当たっての参考にまいります。</p>

1-4	○日本の文化、日本の生活様式(「和」の文化)を担い伝承していくのは日本の各国民であり各家庭である筈である。日本の文化、日本の生活様式を次世代に継承していくためにも各日本人の国民生活=(労働環境等)の在り方が問われる。いきすぎたグローバルゼーション、また労働市場に於ける非正規雇拡大が日本文化の「破壊」につながっている現状を深く憂慮する。	○文化芸術は、人々の生活を豊かにし、喜びをもたらすものであると考えております。日本人のこころのふるさと関西が、時代を超えて受け継がれてきた様々な文化資源を守り、その魅力を次世代に継承・発展させる取組を今後も進めてまいります。
1-5	○現在の日本にとって差し当たり「東南アジア」諸国との文化・歴史における相互交流、相互理解が喫急の課題かと感じる。日本、関西は先の大戦で悲惨な「空襲」の惨禍を体験した。戦争の惨禍は中国、朝鮮半島、また東南アジア諸国の民族にも多大な犠牲を強いてきた。尖閣諸島、沖縄を巡り、また中近東、シリア・ウクライナに於いても国際的緊張が高まる中、この国際的緊張の深まる時代に関西がどのように貢献していけるかという観点もこれからの観光、文化の振興を考える上で欠かせないのではないか。	○関西広域連合では、「KANSAI」をより深く理解いただき、来訪いただけるよう、東アジア及び東南アジアの諸国・地域に対してこれまでから観光プロモーションを実施してきております。観光を通じて、各諸国・地域との交流が深まることで、国民同士の相互理解や草の根の交流が深まるものと考えており、引き続き、関西への観光誘客に取り組んでまいります。
1-6	○外国人観光客を増やすことが目標として書かれているが、現在でも、時期によっては多くの観光客が押し寄せているところもある。一部地域に集中することがないよう、全体として考える必要があると思うが、どのように考えられているのか。	○関西観光・文化振興計画での取組の方向性は、関西に多くの外国人観光客に訪れてもらうとともに、関西を広く周遊して長く滞在してもらうことを目指しています。観光客の集中を緩和するためにも、広域観光ルートの提案や各地の観光情報の発信強化などを通じ、関西各地に分散しての周遊を促す取組を進めてまいります。
1-7	○関西の府県市のもつ強みや課題は様々である。基本方針に「関西は一つ」としてとあるが、どのように取り組んでいく考えか。	○各地域のポテンシャルを引き出し、連携を強化することは重要なことと考えており、これまでから、府県市と合同で海外プロモーションを実施したり、広域観光ルートの紹介など関西全体の情報をまとめてインターネットで発信するなどの取組を行ってきています。今後も国、自治体、観光団体などと連携して取組を進めてまいります。

2 目標達成のための戦略について

整理番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
2-1	○「関西広域連合広域観光・文化振興局」がJTB, 近畿日本ツーリスト, 日本旅行, 阪急交通社の協力を得て、関西広域連合構成府県内でのホテルや旅館等の宿泊施設における宿泊数を増やす。	○関西観光・文化振興計画の推進、目標の達成に向けては、これまでから官民が連携して取組を進めてきており、引き続き、連携を推進してまいります。

2-2	○「関西広域連合広域観光・文化振興局」が「神戸・淡路島・徳島」の広域観光ルートを設定する。	○府県域を越える広域観光ルートは、関西周遊を促進するための有効な手段であり、関西広域連合では、これまでからご提案の「神戸・淡路島・徳島」のルートを含む、関西を巡る8つの広域観光ルートを策定、提案しております。 ○広域観光ルートを活用した誘客について、引き続き推進してまいりたいと考えております。
2-3	○「関西広域連合広域観光・文化振興局」が主体となつてサイクリングを活用しての観光振興を行う。	○外国人観光客の旅行スタイルや目的の多様化に対応し、新たな観光需要を創出していく必要があると考えております。 サイクリングは外国人観光客にとって魅力あるツールとなっており、レンタサイクルなど各地で取り組まれている府県市等の情報発信への支援等の取組を検討してまいります。
2-4	○「関西広域連合広域観光・文化振興局」が主体となつて大阪府東大阪市の「町工場ものづくり・ツーリズム」や徳島県上勝町の「エコ・ツーリズム」等のストーリー性を持ち合わせた観光振興を推進する。	○関西はあらゆる観光資源の宝庫であり、これらの関西の強みをトータルに、一つのブランドとして海外に向けて発信する取り組みを展開しております。産業観光やエコツーリズム、アグリ・ツーリズム、ブルーツーリズムなどについては、すでに各地域での取組がなされていますので、関西広域連合としては、広域観光ルートに組み込むなどにより海外に向けて情報発信し、誘客促進につなげてまいりたいと考えています。
2-5	○「関西広域連合広域観光・文化振興局」が主体となつて「農家民宿」を中心とする「アグリ・ツーリズム」、「漁家民宿」を中心とする「ブルー・ツーリズム」の取組を推進する。	
2-6	○関西の観光・文化の取組を広く連携させ、相乗効果を生み出すために、大阪南部(泉州地区)において東西軸の交通整備が欠かせないとする。古代古墳時代から中世、戦国時代に至るまで大阪平野の交通軸は南北軸ではなく泉州沖から生駒・葛城山系に抜ける東西軸が中心であった。 古市・百舌古墳群の周遊ルート整備の観点からもバス、自転車、新交通システム等を活用した広域東西軸の交通ルートの整備が望まれると思う。	○関西を訪れる外国人観光客が安心して楽しめるインフラ整備の充実が重要と考えており、必要に応じて国に求めてまいります。
2-7	○関西の「歴史街道」と徳島県の「阿波歴史文化道」との一体化や融合を図る。	○関西広域連合では、これまでから関西の様々な歴史的・文化的資源を含めた広域観光ルートを設定するなど取組を進めておりますが、今後も、歴史街道推進協議会と連携し、一体的に観光振興に活用してまいりたいと考えています。

2-8	<p>○「関西広域連合広域観光・文化振興局」の主催で「関西盆踊り大会」を大阪城ホールで開催する。</p> <p>※「河内音頭踊り」、「阿波踊り」、「丹波デカンショ踊り」、「紀州ぶんどら踊り」、「串本節踊り」等</p>	<p>○関西には、各地の伝統的な祭りや民謡、童謡をはじめ、長い歴史に培われ、地域に密着した伝統文化の蓄積があり、関西広域連合としては、構成団体における固有の文化振興施策の内容や効果等を踏まえ、関西広域連合が果たすべき役割を整理し、関西全体の文化振興を図ることが重要と考えておりますので、ご意見につきましては、関西の特徴を活かすアイデアとして、施策の推進に当たっての参考にしてまいります。</p>
2-9	<p>○「関西広域連合観光・文化振興局」の主催で「関西広域連合国際映画祭」を開催する。</p> <p>○「関西広域連合観光・文化振興局」が京都府を「日本のハリウッド」、徳島県を「東洋のハリウッド」と認定する。</p> <p>※「村の写真集」、「祖谷物語」、「眉山」、「人生いろどり」、「バルトの楽園」、「鳴門秘帖」、「虹をつかむ男」、「奇跡の海」、「ウエルかめ」(NHK大阪放送局制作・朝の連続ドラマ)</p>	<p>○関西各地では、国際映画祭をはじめ、様々な映画祭が開催されており、関西広域連合としては、構成団体における固有の文化振興施策の内容や効果等を踏まえ、関西広域連合が果たすべき役割を整理し、関西全体の文化振興を図ることが重要と考えておりますので、ご意見につきましては、関西の特徴を活かすアイデアとして、施策の推進に当たっての参考にしてまいります。</p>
2-10	<p>○「関西広域連合観光・文化振興局」の主催で持ち回り方式による「関西広域連合広域文化祭」を開催する。</p>	<p>○関西広域連合では、現在、文化の新しい楽しみ方を発見いただき、文化がますます身近に感じられる機会を多くの方に提供できるよう、年2回、関西各府県内で順次、「関西元気文化圏推進フォーラム」を開催しています。</p>
2-11	<p>○「関西広域連合広域観光・文化振興局」が関西広域連合構成府県内の民謡や童謡の振興を行う。</p> <p>※「祖谷の粉ひき唄」、「鞠と殿様」、「貝殻節」等</p>	<p>○関西広域連合としては、構成団体における固有の文化振興施策の内容や効果等を踏まえ、関西広域連合が果たすべき役割を整理し、関西全体の文化振興を図ることが重要と考えておりますので、ご意見につきましては、関西の特徴を活かすアイデアとして、施策の推進に当たっての参考にしてまいります。</p>
2-12	<p>○「関西広域連合広域観光・文化振興局」が「京都国立近代美術館」を中心にして構成府県内の公立美術館を対象に「関西広域連合ネットワーク美術館」を構築する。</p> <p>○「関西広域連合広域観光・文化振興局」が「京都国立博物館」を中心にして構成府県内の公立博物館を対象に「関西広域連合ネットワーク博物館」を構築する。</p>	<p>○国立美術館・博物館を中心としたネットワークの構築につきましては、国公立美術館・博物館も参画している公益財団法人日本博物館協会が設立され、調査研究をはじめ、情報の収集や提供事業など、既に様々な取組が進められているところです。関西広域連合としては、同協会と連携して取り組んでまいりたいと考えています。</p>

2-13	<p>○「関西広域連合広域観光・文化振興局」が主体となつて、構成府県内で「街かどのアート展」を開催する。 ※「出羽島・牟岐アート展」,「瀬戸内国際芸術祭」</p>	<p>○関西各地では、国際芸術祭をはじめ、様々な特徴ある美術展等が開催されており、関西広域連合としては、構成団体における固有の文化振興施策の内容や効果等を踏まえ、関西広域連合が果たすべき役割を整理し、関西全体の文化振興を図ることが重要と考えておりますので、ご意見につきましては、施策の推進に当たっての参考にしてまいります。</p>
2-14	<p>○「関西広域連合広域観光・文化振興局」が美馬市脇町の「三味線餅つき」の伝統文化の振興を行う。</p>	<p>○関西広域連合としては、構成団体における固有の文化振興施策の内容や効果等を踏まえ、関西広域連合が果たすべき役割を整理し、関西全体の文化振興を図ることが重要と考えております。ご提案の伝統文化振興については、府県市等での取組を進めていただくことで考えています。</p>
2-15	<p>○東京オリンピックに向け、「おもてなし」が重要で、関西各地のおもてなし力や案内力を強化する取組が必要だと思ひます。</p>	<p>○関西を訪れる外国人観光客に対するおもてなしや利便性の向上が重要であると考えており、関西広域連合としましては、多言語対応の強化等をはじめ、外国人観光客の受入環境整備に取り組んでまいりたいと考えています。</p>
2-16	<p>○「関西広域連合広域観光・文化振興局」の組織内に「広域連合競技スポーツ部」を設立する。 ※JリーグのG大阪、C大阪、ヴァンフォーレ甲府、徳島ヴォルティス、京都サンガFC、ガイナーレ鳥取を応援する。 ※大阪マラソン、京都マラソン、神戸マラソン、徳島マラソンを応援する。 ※「2019年ラグビーワールドカップ日本大会」、「2020年夏季オリンピック東京大会」を盛り上げる ※「2021年ワールドマスターズゲーム関西大会」の関西広域連合構成府県内での周知告知を推進する。</p>	<p>○2021年の関西ワールドマスターズゲームズ2021の開催に当たって、組織委員会が立ち上げられ、構成府県市のみならず、関西圏内の市町村や経済界等が連携し取組を推進しているところです。関西広域連合としてもスポーツ振興の重要性を認識しており、今後、推進のあり方等について検討してまいります。</p>
2-17	<p>○関西各地のスポーツ施設を使つての関西とアジア諸国のスポーツ交流策として関西広域での「関西アジアスポーツカップ」等を創設してはどうか。 ○また観光資源としての自然環境を保全していくためにも産業・工業からの開発を抑制していく手だて、政策が望まれる。</p>	<p>○関西広域連合では、2021年の関西ワールドマスターズゲームズ2021の開催やその他各種のスポーツ大会との連携など、今後、スポーツ振興の推進のあり方等について検討してまいります。 ○自然環境保全については、法律や条例に基づき、構成府県市等において取り組まれているところです。</p>

2-18	<p>○中間案では、かなりの戦略が盛り込まれている。財源も限られている中、全てを実現しようとすると、関西広域連合だけでは難しいと思う。特に文化面では予算措置も少なく、国はもちろんだが、様々な団体とも連携しながら進める必要があるのではないかと。</p>	<p>○関西広域連合では、構成団体と一体的な取組を展開するとともに、国や関係機関・団体とも適切な分担と密接な連携を行い、取り組むことが重要と考えており、事業実施に当たっては、文化庁関西分室や関西元気文化圏推進協議会、歴史街道推進協議会等とも連携し、関西文化の魅力を発信する取組を進めているところです。ご意見につきましては、施策の推進に当たっての参考にしてまいります。</p>
2-19	<p>○ビザの緩和等の効果もあり確かに外国人観光客は増えていくだろう。観光地に行けば、日本人より外国人のほうが多いのではと思うようなところも多くなっている。この流れを定着させ、真の観光立国として定着させていくためには、リピーターが定着するかどうか大きな要素になってくると思われる。世界の各国が外国人観光客の誘致を進めるなかで、一度来ていただいた方にいかに満足していただき、また来たいと思わせるかが重要である。一過性のイベントを実施するのではなく、現在ある資源を磨き、観光資源として情報発信していくことが必要である。</p>	<p>○外国人旅行者数を安定的に増やしていくためには、リピーターを増やすことが不可欠であると考えています。関西広域連合としては、広域観光ルートのブラッシュアップやファムトリップによる関西各地の魅力の紹介、関西観光WEBの充実、強化などを図り、繰り返し関西を訪れたいと思っていただけるような取組を進めてまいります。</p>
2-20	<p>○(2)文化振興・戦略テーマⅠ 関西文化の魅力発信 ①「関西文化」の認知度とイメージの向上について よいと思います。なぜかという「人形浄瑠璃」「祭り」「世界遺産」などの文化芸術資源は関西しかないものである。インターネットで世界に発信すると、世界の人も関西にもこんないい文化芸術があるのかということがよくわかってくれるということもありうると思います。とにかくそうして関西の文化芸術を世界にうりこむことが大事であると思います。</p>	<p>○関西広域連合では、現在、「文化の道」事業として、「人形浄瑠璃」や「祭り」、「世界遺産」など、関西が有する文化芸術資源をテーマでつなぎ、時代と地域を越えてその魅力を伝える取組を進めるとともに、関西各地の文化事業は、関西の芸術文化情報サイト「関西文化.com」での掲載などにより、関西広域での広報に努めております。 ○今後も引き続き、関西文化の魅力を発信してまいります。</p>